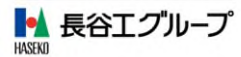


PRESS RELEASE

住まいと暮らしの
創造企業グループ



2022年2月21日

長谷工グループ 2025年日本国際博覧会 テーマ事業「シグネチャーパビリオン」への協賛が決定

長谷工グループ（代表企業：㈱長谷工コーポレーション、本社：東京都港区 社長：池上 一夫 以下、「長谷工」という）は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を象徴、代表する事業で、テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現する上で重要な取り組みである、テーマ事業「シグネチャーパビリオン(※)」に協賛することが決まりましたので、お知らせします。

長谷工は、本テーマ事業への協賛を通じて、グループ全役職員のモチベーションアップにつなげ、更なる企業価値向上に努めてまいります。

2025年に大阪・夢洲の万博会場から未来社会の姿を発信するため、今後、テーマ事業「シグネチャーパビリオン」の実現を、テーマ事業プロデューサーとの共創により進めていくとともに、2037年に創業100周年を迎える長谷工のレガシーとなるよう本博覧会の成功に向け、グループをあげて取り組んでまいります。

なお、協賛の詳細については、今春以降の発表を予定しています。

(※)「シグネチャーパビリオン」とは

テーマ事業は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8人の専門家がつくるパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」であることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けられました。8名のテーマ事業プロデューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのちの輝く未来社会のデザイン」を、それぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオンを建設していきます。

(ご参考)

■テーマ事業名及びテーマ事業プロデューサー

- ・「いのちを知る」福岡 伸一（生物学者、青山学院大学教授）
- ・「いのちを育む」河森 正治（アニメーション監督、メカニックデザイナー）
- ・「いのちを守る」河瀬 直美（映画監督）
- ・「いのちをつむぐ」小山 薫堂（放送作家、脚本家）
- ・「いのちを広げる」石黒 浩（大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所客員所長）
- ・「いのちを高める」中島 さち子（音楽家、数学研究者、STEAM 教育家）
- ・「いのちを磨く」落合 陽一（メディアアーティスト）
- ・「いのちを響き合わせる」宮田 裕章（慶応義塾大学教授）